

# バイカモ繁茂する清らかな川目指して

## 「守る会」がバイカモ引越し作戦

# 一之宮まち協だより

第27号

平成28年8月1日

一之宮町  
まちづくり協議会  
広報部

高山市一之宮町3087  
電話 53-2424



移植作業を前に移植地の除草作業が行われました

バイカモの移植作業が7月4日、宮小学校と宮中学校の子どもら約40人が参加して水無神社前の常泉寺川で行われました。

水無神社の近くを流れる常泉寺川のバイカモは、市の天然記念物で、かつては神社付近の川面に群生していましたが、生育環境の変化などで減ってしまいました。そこで、地元で保護活動が続けている「水無バイカモを守る会」が主催して「引越し作戦」を行ったもので、子どもたちは近くの水路で繁殖したバイカモを常泉寺川に移植しました。

移植作業には近くの国道41号宮峠トンネル工事に関わる国土交通省職員や施工業者も加わり、雨で増水した川で移植を行いました。

清らかな湧き水付近にしか生息できないバイカモが復活すれば、一之宮町内の住民が地域の自然を見つめ直すきっかけになるでしょう。

(広報部員 中島)



バイカモの話聞く小学生

# 「宮」再発見!

一之宮公民館

植えられ、川辺には苔が茂ってこの季節の涼しさを演出しています。

一之宮のみなさん、公民館に寄られた際にはぜひこの中庭もご覧ください。

## 涼を呼ぶ清流の中庭

この庭に見覚えは？さて、どこの庭？ 見慣れた人もいれば、「え、どこ？」と全然わからない人もいるかもしれません。そう、一之宮公民館の中庭です。

公民館にこうした中庭があるのは珍しいかもしれません。初めて訪れた人からは、「こんな素晴らしい庭があってびっくりした」とよく言われます。

この庭は、公民館ができた昭和62年に同時に造営されたもので、以来、一之宮公民館のシンボリック的存在になっています。

特徴は清らかな水が流れていること。地下水を汲み上げて流しているもので、清流の流れる音が心地よく、その流れに沿うようにツツジやアセビ、イチイなどが



館内に涼しさを呼ぶ中庭

# まちよな

## ホウレンソウ一筋40年 奥深い仕事に自信と誇り

黒木 利夫 さん（段）

今回は、無数河川の清流に蛍が舞う

里、段地区の黒木利夫さん（69）です。今、ホウレンソウの出荷で大忙しです。そんな中お話を聞きしました。

黒木さんは奥様の良子さんと2人で、栽培、出荷を試みえます。2反8畝、16棟のハウスを作ってみえます。今は、朝5時に起きて、取り入れ、包装、そして、午後3時までに宮峠にあるJAの集荷場へ運搬されます。

年間では3月から11月頃までホウレンソウを4作され、その畑の準備、栽培、後片づけ等に関わり、冬場は、モンデウススキー場やヒュッテで2人も働いてみえます。

サラリーマンであった工員を辞めて転職されたのは、昔から農家であったことと水田の転作奨励時期もあって決



ホウレンソウのハウスの前で

断されたそうです。

ホウレンソウ栽培を始めたのは、昭和53年で一之宮では最初でした。その当時から今まで続けているのは、黒木さん1軒になったとのこと。今の若い農業後継者は、トマトを作っている人が多く、一之宮町のホウレンソウ栽培は、この段地区だけになったとも話されました。

作られたホウレンソウは「ひだのほうちゃん」の愛称で、全て大阪へ出荷されるそうです。清らかな水、澄んだ空気、豊かな自然環境が育んだくが売りで、新聞の全国版にも掲載されたそうです。寒暖差の大きな高冷地野菜でおいしいと人気があります。長年の栽培ながら、気象条件や手入れで出来が変わり、毎年発見があり「蔬菜栽培は奥が深い」とのこと。水かけ10年という言葉があり、水管理がポイントと言ってみえました。

今年は今のところ順調ですが、雪が少なかったことが心配で、また、栽培者の困惑というより、安心安全を求めるなど消費者の声に答えなければならず、気が抜けないそうです。

早朝から、暑いハウスの中での作業、生きもの相手の仕事、さらに発見や工夫の必要な奥の深いホウレンソウ栽培の追及、それと年間を通した計画的な仕事を進めてみえる黒木さんに「まちよな」を感じました。（山腰）

# ルーエッセイ

16

## 健康で明るい一之宮町を！

香賀 敬一 さん

まち協福祉部部長 日影地区

まち協福祉部では、多くの高齢者から若者、子ども達が気軽に立ち寄れる“語らいの場”として「みや交流サロン」を6月17日にオープンしました。今年度からは、低料金（まち協から助成あり）の自販機を設置し、多くの町民の皆様喜んで利用して頂けるよう考えました。

また、7月12日には町内会長・班長・福祉委員・見守り推進員・民生委員の合同研修会を初めて実施し、各町内での見守り、避難行動要支援台帳の作成など事業の方法を確認しあいました。この研修会では、委員の皆さまに活発な意見を頂き、福祉に対する重要性を垣間見ることができました。

研修の合間には「マッキー&のりか」の寸劇を見させてもらい、

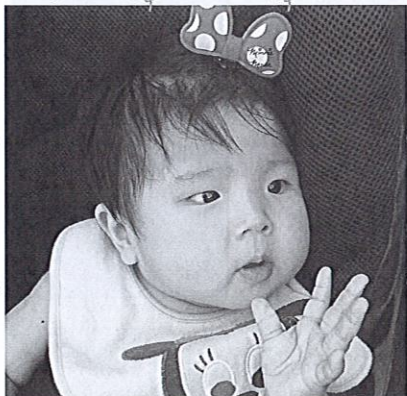
現在問題視されている認知症、一之宮町で実施されている福祉について、ユーモアあふれる演出で会場を盛り上げていただきました。

最後に各町内会に分かれ、班の現状を把握していただき、今後の活動について話し合い、『自分たちの区域は自分たちで守る』ことを確認しました。

一之宮町は3人に1人が65歳以上の高齢者となっているのが現状です。福祉部ではサロンの活用、福祉講演会、地域交流餅つき大会等を通じて、町民に少しでも『生きがい・安らぎ・楽しみ』のある生活に役立てればと願っております。今後とも町民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



見守り推進員と関係者のみなさんと



中ず  
結 朱ちゃん 平成27年12月12日生まれ  
お父さん:幅上 大輔さん《山下下》  
お母さん:幅上 千賀さん

## ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

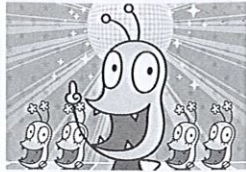
6ヶ月でつかまり立ち、つたい歩きをしてみせる足の強さには周囲もビックリ!最近では離乳食をニコニコ・モリモリ食べてます。  
名前の由来は、「朱」人を惹き付け周囲を温かく包み込み心を前向きにさせる。「結」素敵な出会い、絆、結実。という意味を持つ2つの漢字に願いを込めて「結朱」にしました。  
すべての出会いに感謝して、家族・友人の絆を大切にできる素敵な女性になってね!

『ぼくのなまえ☆わたしのなまえ』に紹介するお子さんを募集しています!  
詳しくは、まち協事務局(公民館内) ☎53-2424・  
miyamachikyo@hidatakayama.ne.jp  
までお気軽にどうぞ!!

# お知らせコーナー

## ■「夏休み上映会」にぜひどうぞ!

高山市図書館一之宮分館では、夏休み恒例の上映会を開催します。手遊びなども行いますよ!



ご家族で、お友達同士で、ぜひ来てください!

- ◆日時：8月3日(水) 午前10時～
  - ◆場所：一之宮公民館 和室
  - ◆上映作品：『おしりかじり虫』『あつまれ!海のなかまたち』
  - ◆入場無料・申込み不要です
- ※詳しいことは高山市図書館(☎32-3096)まで

## ■宮峠トンネルの工事進捗及び宮峠除雪センターの移転計画説明会の開催について

国土交通省高山国道事務所と高山市が工事の進捗状況や宮峠除雪センターの移転について下記の通り説明会を開催します。

- 町民のみなさまの出席をお願い致します。
- ◆期日：8月5日(金) 午後7時30分
- ◆会場：一之宮支所大会議室
- ◆内容：・工事の進捗状況  
・除雪センター移転計画  
・質疑応答

お問い合わせは、高山国道事務所工務課、あるいは高山市一之宮支所基盤産業課までお願いします。

## ■毎年恒例「納涼夏祭り」開催します

今年も納涼夏祭りを開催します!!皆さんでお越しく下さい

- ◆日時：8月14日(日) 午前6時～
- ◆場所：一之宮支所駐車場
- ◇宮保育園児のお遊戯・杉山修さんライブなど盛りだくさん!!もちろん、大ビンゴ大会もありますよ!
- ◇盆踊りも開催! 仮装での参加大歓迎!
- ◇パザーもたくさん出店します。



## ☆同時開催『夏祭リアニメ上映会』

今年は大人気アニメ『ミニオンズ』を上映します。

- ◆開始時間：午後1時30分～
  - ◆場所：一之宮公民館ホール
- ※詳しいことはチラシをご覧ください。  
※お問合せは、まち協事務局☎53-2424まで

## ■資源リサイクルにご協力ください

8月20日(土)午前8時から子ども会主催の資源リサイクルがあります。子ども会員が家庭を回り回収しますのでみなさまのご協力よろしくお願いします!

## ～公民館から～

### ■展示コーナー

- 一位細工展 (8月21日まで)
- 絵画クラブ作品展 (8月末～)

### ■8月の公民館定休日

8日(月) 12日(金) 22日(月)

### ■8月の位山交流館定休日

1日(月) 8日(月) 15日(月)  
22日(月) 29日(月)

遊び、申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

★「海辺の生きもの」  
海にはどんな生きものたちがいるのかな? 図書館で調べてみませんか。全国の水族館に関する情報も紹介します。



## 一之宮町の人口情勢

7月1日現在・単位:人

世帯数	8 1 2 戸		合計
	年齢	男性	
0～14歳	183	160	343
15～64歳	674	712	1,386
65歳以上	348	467	815
合計	1,205	1,339	2,544

### 編集後記

梅雨明けが待ち遠しいですが、このまち協だよりが配布される頃には、梅雨明け宣言がでていっていると思います。7月も多くの行事がありました。十分掲載できなかったのではないかと思います。是非、ニュースや予定を事務局までお知らせください。お待ちしております。メールでも結構です。(山腰)

### つぶやき

4歳のうちの子に今年海水浴デビューさせようということになり、自分も水着を持ってきれば人に見られたくないが、子供のためならしょうがない。水着を買いにお店に行く。しかし最近の水着はラッシュガードという着たまま泳げる上着があり、体型もカバーできるうえにヒリヒリする背中の日焼けも防げる。これで海水浴も怖くない。(めがね)

## 四季を詠む

今月から位山句会の協力を得て、毎月開催される俳句会に出される約50点の作品のうちから選ばれた数点の俳句を紹介いたします。

位山句会は昭和36年に、当時の婦人会の部会として発足し、多い時で15名が所属していましたが、高齢化などもあり現在は7名と半減しました。会では、興味のある方はぜひ入会して一緒に勉強しませんかと呼びかけています。指導者は三木隆子、三木ふみの両先生です。

### ◎七月の選句

- ・老鶯の次の一声待つ間 教子
- ・祭りも近づき墓掃除に行った際、鳥の影も見えないけれど自分ながら優しい心になった一時でした。
- ・検診を終えて明るき緑雨かな 喜栄
- ・文月は傘寿と兄の笑い皺 清子
- ・位山広く青田の夕ざりぬ しき
- ・どくだみに埋めつくされし魔家かな 八重子

## 図書館だより

暑い夏を涼しく過ごすヒントを図書館で探しませんか。図書館には浴衣・花火・冷たいデザートなどの本も揃っています。交流館ロビーは飲食可能です。こまめな水分補給を心掛けてください。

### ★夏休みの宿題、応援中!

図書館では、8月も引き続き「夏休みお助けコーナー」を開設中です。読書感想文、作文に役立つ本や、戦争に関する本も紹介中です。

7月21日～8月25日までの夏休み期間中のスタッフの滞在時間は、午前10時～午後5時までです。

### 〈今月の特集〉

### ★「海辺の生きもの」

海にはどんな生きものたちがいるのかな? 図書館で調べてみませんか。全国の水族館に関する情報も紹介します。

23	21	20	14	13	7	4	日
火	日	土	日	土	日	木	曜
町内会長会 (公民館)	六地区対抗体育大会 (小中学校グラウンド他)	資源リサイクル	飛騨一之宮納涼夏祭り (支所駐車場・公民館)	全日本ローラースキー みや大会	夏の環境整備	結婚相談 (交流館)	行政相談・心配ごと (交流館)

## 8月の行事予定

## まち協福祉部が研修会 福祉委員など35人が参加

地域高齢者を支援する制度や実践する役割について学び、地域福祉の機運を高めようと、まち協福祉部が主催した研修会が7月12日に一之宮公民館で行われました。研修会には町内会長や班長、見守り推進員、福祉委員、それに民生児童委員など35人が参加しました。

研修会では、避難行動要支援者や「命のバトン」について、一之宮支所や社会福祉協議会一之宮支部から説明がありました。また、コンビ「マツキ&のりか」による身近な題材を使った飛騨弁によるコントもあり会場は笑いに包まれていました。この後参加者は町内単位で話し合い、町内の高齢者支援について情報共有を図っていました。



身近な話題のコントに会場が笑

## 「真田丸」の舞台等巡る まち協文化部の研修旅行

まち協文化教養部が今年度の文化研修旅行を6月26日に実施しました。参加したのは事前に募集した24人で、行き先はNHKの大河ドラマ「真田丸」の舞台となった長野県上田市の上田城始め、小布施の北斎美術館やほかにサクランボ狩りと盛り

だくさん。車内では、自作の紙芝居や創作話なども披露され、楽しく充実した研修になりました。



上田城で記念撮影する参加者

## アロマセラピー講座開催 まち協女性部東地区

まち協女性部東地区では7月6日に間坂下集会所で、講師に地元一之宮町の清水妙子さんと古川町の後藤さえりさんを招き、「夏のアロマセラピー講座」を行いました。

講座には12人が参加し、自分の好きな香りのアロマスプレーや足湯バスソルトを作り、2人組でハンドマッサージをしました。スキンケアは痛みを癒し心も落ち着かせる作用があるそうで、「アロマの香りでリラックスしたし、今夜はぐっすり眠れる



いろいろな香りを試す参加者

## 夏休みはラジオ体操から 全市一斉ラジオ体操会

夏休み初日の7月21日早朝に、全市一斉ラジオ体操会が宮小学校グラウンドで行われました。

保育園児や小中学生、スポーツ推進員、子ども会役員や保護者が多数集まり、東田丈一郎子ども会長の挨拶に続いて國島市長のメッセージが流された後、体操を行いました。

翌日からは各地区で行われますが子どもたちにとって健康で充実した夏休みになるよう願っています。



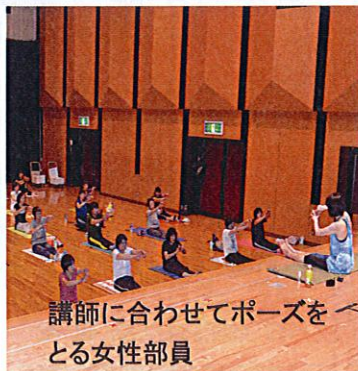
宮小に集まって体操する子ども達

## ヨガで心身リフレッシュ まち協女性部が体験講座

まち協女性部では今年度の全体活動として、7月16日と23日に50人が参加して一之宮公民館でヨガ体験を行いました。

ヨガインストラクターの中谷智子さんの「無理なく頑張らなくゆったりとした気持ちで始めましょう」の言葉に気持ちも体も緩み、ポーズをとりにながらゆっくり深呼吸。全身の筋肉をバランスよく使うことで自分の

体の歪みや痛みを感じ、心静かな時間が流れていきました。穏やかな気持ちのまま最後に手と手を合わせ、今日の自分と向き合い、感謝の気持ちで終わり、とても貴重な体験をすることができました。(牛丸)



講師に合わせてポーズをとる女性部員

## まち協福祉部が講演会 須田病院と共催して開催

「心と身体の健康講座」が7月23日に一之宮公民館で開催され、町内から47人が参加して講義や体操指導を受けました。65歳以上の人を対象に須田病院が主催しまち協福祉部が共催したもの。

「川柳にみる認知症」と題した講演では、講師の加藤秀明須田病院院長が、自身やスタッフが詠んだ川柳を紹介しながら、認知症の特徴や予



加藤院長の川柳の紹介に思わず笑いが出る会場

防策などについてユーモアを交えて話しました。

続いて主に高齢者向けに「からだ」と「こころ」のケアを目的に開発されたケアビクス体操が日本ケアビクス連盟会長の瀧口昌恵氏の指導で行われました。ケアビクスは椅子に座ったままできる体操で、参加者は音楽に合わせて心地よい時間を過ごしていました。

## 岩瀬児童クラブと交流 子ども会が恒例の交流会

富山県の岩瀬児童クラブと一之宮町子ども会の交流会が7月23、24日の両日にわたり、岩瀬からは11人、一之宮からは21人の子どもが参加して一之宮町を会場に行われました。

初日は飛騨位山文化交流館で対面式をして3つのグループに分かれて行動開始し、飛騨大鍾乳洞を探索しました。夜は久々野町の自然休養センターに宿泊して、バーベキューと花火を楽しみました。

翌日はモンデウス周辺でのツリークライミングや一之宮公民館で宮笠のひでを使った工作など、楽しい体験をしました。盛りだくさんの内容で思い出に残る交流となりました。



オリエンタリングを楽しむ子ども